

# 第26回八王子市まちづくり審議会

## －会議録要旨－

令和4年（2022年）3月16～25日

書面開催

八王子市まちづくり審議会事務局

会議名	第26回八王子市まちづくり審議会										
開催日時	令和4年（2022年）3月16日（水）～25日（金）										
開催場所	書面開催										
出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">野澤 康 委員</td> <td style="width: 50%;">佐藤 武文 委員</td> </tr> <tr> <td>中西 正彦 委員</td> <td>鈴木 佐登美 委員</td> </tr> <tr> <td>山本 薫子 委員</td> <td>小俣 能範 委員</td> </tr> <tr> <td>山崎 勲介 委員</td> <td>畑村 留美子 委員</td> </tr> <tr> <td>青木 訓行 委員</td> <td>佐藤 早弥佳 委員</td> </tr> </table>	野澤 康 委員	佐藤 武文 委員	中西 正彦 委員	鈴木 佐登美 委員	山本 薫子 委員	小俣 能範 委員	山崎 勲介 委員	畑村 留美子 委員	青木 訓行 委員	佐藤 早弥佳 委員
野澤 康 委員	佐藤 武文 委員										
中西 正彦 委員	鈴木 佐登美 委員										
山本 薫子 委員	小俣 能範 委員										
山崎 勲介 委員	畑村 留美子 委員										
青木 訓行 委員	佐藤 早弥佳 委員										
欠席委員	なし										
事務局	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">まちなみ景観課課長 櫻田</td> <td style="width: 50%;">まちなみ景観課主任 北野</td> </tr> <tr> <td>まちなみ景観課主査 山崎</td> <td>まちなみ景観課主任 森木</td> </tr> <tr> <td>まちなみ景観課主査 鈴木</td> <td>まちなみ景観課主任 赤羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まちなみ景観課主事 加藤</td> </tr> </table>	まちなみ景観課課長 櫻田	まちなみ景観課主任 北野	まちなみ景観課主査 山崎	まちなみ景観課主任 森木	まちなみ景観課主査 鈴木	まちなみ景観課主任 赤羽		まちなみ景観課主事 加藤		
まちなみ景観課課長 櫻田	まちなみ景観課主任 北野										
まちなみ景観課主査 山崎	まちなみ景観課主任 森木										
まちなみ景観課主査 鈴木	まちなみ景観課主任 赤羽										
	まちなみ景観課主事 加藤										
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区まちづくり協議会等の概要、活動報告等</li> <li>2 事務局報告</li> </ol>										
公開・非公開の別	公開										
傍 聴 人	なし										
配付資料	<p>地区まちづくり協議会等の概要及び活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中町地区まちづくり協議会</li> <li>・八王子市加住町・宮下町地区周辺のまちづくり協議会</li> <li>・めじろ台地区まちづくり協議会</li> <li>・小津倶楽部まちづくり準備会</li> </ul>										

会)：会長意見

委)：委員意見

事)：事務局

事) 八王子市地区まちづくり推進条例の運用と、地区まちづくり協議会等の活動支援にむけ八王子市まちづくり審議会の意見を聴取したいため、第26回八王子市まちづくり審議会を書面開催することといたします。報告事項をご確認いただき、地区まちづくりの課題、方策に関して意見のご提出をお願いします。

【議事 地区まちづくり協議会等の概要及び活動報告 に関する意見】

・中町地区まちづくり協議会

委) 課題として、地区住民の合意を得ることとあり、これまでも粘り強く合意を得るために取り組まれてきていると思います。合意を得るという課題について、この1年程度での進展等がわかれば良いと思いました。また、今後の見通しについてもわかると良いと思いました。

委) 住んでいる町の伝統と文化を大事に受け継いでいく必要を早くから感じ取り、準備会を発足し現在に至っていることを大変うれしく思います。多くの人と共に多彩なプロジェクトを立ち上げ、行動に努められていることに敬意を感じます。活動実績を拝見しますと年間を通して活発に活動している様子が受け取れます。小冊子中町の散歩小路は見やすく大変良くできております。今後、無料休憩所「まち・なか」を利用しながら更なる発展に期待が持てます。

委) 中町地区における2007年からの地道な取り組みに深い関心をもって拝見させていただきました。織物で栄えた八王子の良き時代を彷彿とさせる街並みを作り、八王子の顔となる地区に是非ともして頂きたいと思います。その為にはこの活動をもっと多くの方々に賛同して頂けるよう紹介動画などを制作してみてもと思います。とかく素人の私たちは花街を旦那さんや芸者さん、お座敷くらいのイメージでしか描けません。しかしそういう狭い考えではなく、古く栄えた良き時代の文化を次代に伝えていく観点で動画を制作してはいかがでしょうか。動画サイトの中でサポーター登録を勧めることにより、広範囲からの賛同者を増やすことができると思います。そうした取り組みにより地元の方々もこの地区の価値を再認識して計画がスムーズに進めば魅力ある街並みづくりに近づくように思います。期待しております。

委) 中町の伝統と文化を活かした魅力ある街の実現という活動の目的に即した活動になっていると思います。活動のエリアが人通り多い道から奥まっていますので、来街者の目に触れる機会が少ないのが残念です。活動の情報発信の工夫で見てもらえる人を増やすようにすることが課題だと思います。

委) 地域の将来像として、かつての中町の黒堀をにぎわせた業界の織物産業との連携を視野に入れた活動を考えてもいいのかなと思います。市内の糸・織・染の産業は一時より減ってはいま

すが、現在活動している企業は日本のそれぞれの産業の貴重な技術を受け継いでいます。中町とコラボする事で各工場の仕事を来街者に紹介する場にもなり、それを見に来る人が中町の歴史を知り、作られる施設を使ってもらえる機会につながるかと思います。

委) 中町花街については、テレビに取り上げられたことがあるので知ってはいても、行ってみようというところまでにはいたらない人が多いのではないのでしょうか。まず市民にもっと興味を持ってもらうようにした方がいいと思います。散策地図を広報と共にそれぞれの家に配布するとか、YouTubeなど(リポーターが実況中継しているような動画)を利用して、八王子の観光スポットのひとつとしてもっと宣伝した方がいいように思います。ただ、女性ひとりでも安心して入れるのか心配です。周りの環境も大切です。繁華街にある危険な雰囲気を感じさせることがないように、活動対象区域以外にも協力してもらいたいのではないのでしょうか。

#### ・八王子市加住町・宮下町地区周辺のまちづくり協議会

委) 先進地視察で得られた知見などがわかれば良いと思います。海老名、平塚とは地域の規模も異なりますが、どのような点が本地区について参考になったかわかると良いと思います。

委) 八王子の北部に位置する緑豊かな自然が残っている広大な敷地を将来に向けて、自然を残しながら人の集まる素晴らしい地域にしてほしいと考えております。幹線道路を有効に利用して、八王子市民の暮らしにも貢献できるような地域を願っております。今後も地域住民と共に美化活動を中心に地域の輪を広げていくことは更に住民同士の盛り上がりや友好が深められることと思います。

委) 「人と緑と水が息づくまち」を目指すこの地区の特徴は、大きすぎない、ほど良い川が地区を流れ、その川岸が緑で穏やかに繋がっている点だと思います。近年ペットを飼っている家庭が増え、犬の散歩で出会う人と会話を交わす交流などが思い浮かびます。川沿いに「ワンちゃんの散歩道」と称して、ドッグランを作ったり、夏の暑いときにはワンちゃんを川の中を走れる場所があると、犬の散歩で出会う人たちの交流も生まれるかもしれません。犬を連れて歩く人の視点から川沿いの整備をするのも一つの発想になるかもしれません。

委) 滝山城址公園へ観光に来た人も、ついでにふらっと訪れることができるような場所があるといいと思います。川沿いや緑の中を散策するのが好きな人は多いので、手入れの行き届いた緑道や散歩道があるのが理想です。さらに、緑道、散歩道に休憩できるベンチを設置したり、畑のそばにはちょっとした野菜直売所、または管理人つきの貸農園(初めての人も作れるように指導してくれる野菜農園)、公園、ドッグランやカフェなどがあると、交流の場が増え活気づくと思います。花壇についてですが、離れた場所でも同種の花にするなどして統一感を持たせると、町内全体で見守りをしている感じになり、防犯上の効果もあるように思います。

・めじろ台地区まちづくり協議会

委) 駅前ショッピングセンターのカフェ運営は、通常の営利的な形態では持続的な運営が難しいかもしれません。また、何を、どのように、誰を、想定して実施するか、が明確になっていないと、クラウドファンディングも地元企業も出資がしにくいと思います。恒常的な運営にこだわらず、何かイベント等があるときに開くという使い方、また貸しスペースとしての利用も考えられると思います。また、目的と合致するかわかりませんが、まちづくり協議会だけが運営するのではなく、地域の異なる目的を持った異なる組織、事業者（福祉作業所、学校や保育園、高齢者施設、子ども食堂など）とも繋がることで、新たなニーズが見えてきたり、それを反映させた利用に発展させられるかもしれません。

委) 八王子の西南部地域で京王線めじろ台駅を中心に住宅地域として開発され、通勤するに便利な場所であり、当時の若者が多く住まわれた町として発展してきたと思います。現在少子高齢が進み、「まちの再生」を感じ、住民同士が話し合う機会が生まれ、今まさに前進しつつある域であると感じます。多くの住民が会う地域のイベントを企画し、多くの参加者が集いイベント（行事）をを通して地域住民同士の交流が図られていけばと思います。

委) コロナ禍でもZoomを使って毎回40人もの方が会合に参加していること自体素晴らしいと思います。カフェの運営も皆さんの楽しい居場所となっていくことと思いますが、他に「めじろ台、あなたの手」と称して、なんでも屋受付の場を作ってはいかがでしょうか。ちょっとしたことを頼みたい地域の高齢者のご要望に有料でお応えして、運営資金にしてはいかがでしょうか？それが可能か市役所の担当の方助言をお願いします。

委) 住民が高齢化して、まちの賑わい作りが難しくなっていると思います。ショッピングセンターや商店などの商業ゾーンは地域の外からお客を集めないとそれぞれの経営がやりにくくなってくると思います。まちの情報発信を地域の掲示板や回覧版だけに頼っていると地域外の人たちにまちづくり協議会の活動が伝わらないので、地域内でフリーペーパーを発行している「よみっこ」さんなど、情報発信ができる人の協力をお願いして、地域外から人を呼び込む活動もされてみてはどうかと思います。

委) 駅前景観について、人、バス、タクシーなどの動きがかなりある場所のためか、せっかくの花壇の存在が埋もれてしまっていて、かなり殺風景のように感じます。花壇は人が忙しく通過する場所にあるので、花を見て癒されてる人があまりいないような気がします。1丁目～4丁目のそれぞれが花壇の管理をしているのでしょうか。全体で管理しているように見せた方が、町全体で協力しあっていることを感じさせ、安心できる町という印象を持ってもらえるのではないのでしょうか。ロータリーにみどりを感じさせる空間がもっとあれば、訪れる人のめじろ台という町への印象が良くなるように思います。駅からの景観が今のままだと、美しいまちづくりを目指していることに気付いてもらえないかもしれません。せめて中央部分に、大きめの広葉樹が少なくとも1本でもあればなと思うことがあります。ベンチの設置をするのであれば、

目前を人が移動しない落ち着いた場所にした方がいいと思います。急ぐ人と休む人の間に距離がないと、トラブルが起こりそうです。

委) ショッピングセンターについて、こちらも殺風景なので、通りの中央部に花壇があるといいと思います。通りが広くないせいか、威圧感も感じるので、耳障りにならない音楽を流すというのもいいのではないのでしょうか。クリスマスの時期には花屋さんの前でツリーかイルミネーションの飾り付けがされていたような気がします。クリスマス以外でも時々このような飾り付けがされると喜ばれるように思います。カフェ運営を検討中とのこと、期待しています。当分の間コロナも続きそうですので、オープンカフェにしてほしいです。

委) 町の高齢化について、「まちなかベンチ」は、足腰が悪く遠くまで出歩くことができない高齢者の為に良いと思います。もっと増えるといいですが。ベンチは二人分以上あるといいかもしれません。出歩けない一人暮らしの高齢者、交流が苦手な高齢者もいると思います。そういう方たちへの見守り体制というのも考えているのでしょうか。

委) 防犯対策について、夜暗くなっても安心して歩ける明るさが足りないところもあるように思います。節電を意識して外灯を点けない家が増えたためかもしれません。街路灯の設置場所や明るさを考えていただけたらありがたいです。

#### ・小津倶楽部まちづくり準備会

委) 協議会認定に向けての準備段階から地域住民と共に活発に活動されてきたことにより、地域が一丸となり進んでこられたこと、日常から絶えず地域の状況を把握し、地域の住民と共に楽しみながら取り組んでこられてきた事は大変素晴らしいことと思います。これからも有意義な活動を期待いたします。

委) 構成員6名で年間通しての活動を活発に行っておられ大変すばらしいと思いました。都内でありながら山間部の体験ができる魅力をさらに発信して、それを欲している若者との出会いが広がればその中から移住へもつながっていくと思います。

委) コロナでリモート勤務が定着してきたので緑の中に住みたい人が増えています。住んでいらっしゃる方々の意向がまとまって、必要なルールなどが決まりましたら、小津に住みたい人や農業に携わりたい人は23区内にも多いと思いますので、八王子市外も伝わる情報発信ができるように考えて頂きたいと思います。

委) 農業体験的なことが多いようですが、そういう場面を見ながら散策できるような場所もあつたらよいと思います。

#### 【その他 に関する意見】

委) 各協議会の活動について、コロナ禍のもとで難しいところもあったかと思いますが、できることを進めて来られたものと理解しました。小津倶楽部まちづくり準備会が、協議会への認定

申請をせず、準備会としての活動を終えたことには、対面開催であればもっとご事情を伺いたかったところです。まちづくり条例の制度設計からは準備会から協議会へとステップアップすることが想定されていると思います。資料によれば「すでに協議会的な活動に入っており、あえて協議会認定申請をしなくても活動に支障はないと判断し」とあり、地域の自立性の観点からすればけっこうなことですが、行政の支援が必要ないということは支援の仕組みが地域のニーズに即していないということかもしれません。そもそも支援を受けることにデメリットもあると受け取られているようであれば、それも改善すべき点かもしれません。また、協議会認定の仕組みに乗らなければ、今後、たとえばまちづくり審議会の場での報告や情報共有もできなくなるのではないかと思います。それも懸念です（ただ、認定に乗らずに報告や情報共有が今後も続けられるようだと、制度的にはおかしいことになります）。まちづくり協議会活動がなかなか展開しない中で、制度の練り直しも必要ではないかと思えます。今回のケースを、制度的課題を顧みる契機とされることを期待します。